

令和6年度 第3学年 美術科年間指導計画・評価計画

月	時数	題材名	学習内容（活動）	評価規準			学習指導要領との関連		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	A表現	B鑑賞	共通事項
4	1	あの日を忘れない 動きを生かして つながるアニメーション	池田学の作品を鑑賞し、作者の心情について考える。	・形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。	・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	・美術の創作活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1) イ (イ)	(1) ア、イ
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
6	9	印象～修学旅行～	水墨画の表現について、既習事項を確認する。 修学旅行で印象に残っていることを基に主題を生み出す。 構図、筆使いなどを工夫して表現する。 完成した作品を鑑賞し合う。	・形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	・修学旅行で印象に残っている場面を基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通して国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。	・美術の創作活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創作活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1) ア (ア) (2) イ	(1) ア (ア)、 イ (イ)	(1) ア、イ
	10								
	11								
	12								
	7								
7	13	仏像の魅力を味わう	修学旅行に向けて、仏像の造形的な特徴から受ける印象を話し合う。 仏像の役割と造形の要素とのつながりを捉える。	・仏像の形などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。	・日本の美術作品や受け継がれてきた表現の特質などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り、諸外国の美術や文化との相違点や共通点に気づき、美術を通して国際理解や美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めている。	・美術の創作活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1) イ (イ)	(1) ア、イ
	14								
9	15	合唱曲のイメージを描こう 15歳の私	カンディンスキー、ポロック、武満徹の作品を鑑賞し、曲想を表す多様な表現に触れる。 合唱の自由曲を聞きながら、色、形を工夫して曲想を表現する。	・形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	・曲のイメージを基に主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 ・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	・美術の創作活動の喜びを味わい主体的に感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創作活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1) ア (ア) (2) ア (ア)、 イ (イ)	(1) ア (ア)	(1) ア、イ
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
24									
25									
26									
27									
28									
29									
1	30	MY MEMORIAL TUMBLER	「新生活を彩る」という目的の基に、4月からの生活で使いたくなる自分好みの装飾を考える。 材料などを工夫してタンブラーのデザインを考える。	・形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。 ・材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	・新生活を彩る装飾という目的を基に主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現の構想を練っている。 ・目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	・美術の創作活動の喜びを味わい主体的に目的や機能などを考えた表現の学習活動に取り組もうとしている。 ・美術の創作活動の喜びを味わい主体的に作品や美術文化などの鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1) イ (ア) (2) ア (ア)、 イ (イ)	(1) ア (イ)、 イ (ア)	(1) ア、イ
	31								
	32								
	33								
	34								
	35								

描く

描く

描く

つくる

描く